URAWA REDS
Academy SOCCER SCHOOL
Vietnam Hanoi

浦和レッズアカデミーサッカースクール ベトナム・ハノイ校（URASS）　保護者の皆さまへ

URASS の指導方針

子どもたちの成長を、ともに支えるために

2026 年 10 月 27 日

はじめに

URASS は、U-6 から U-15 までのベトナム人、日本人をはじめとするさまざまな国籍の子どもたちが、ハノイで一緒にサッカーを楽しんでいるスクールです。

私たちは、サッカーの技術を高めるとともに、子どもたちの心を育み、一人ひとりの可能性を広げることを目指しています。

仲間を思いやること。自分で考えること。失敗を恐れず挑戦すること。最後まで一生懸命取り組むこと。こうした経験を通じて、子どもたちが成長していくことを願っています。

そのためには、スクールと保護者の皆さまが同じ思いを持ち、子どもたちを支えていくことが大切です。

この資料では、URASS が大切にしている育成方針と、保護者の皆さまと共有したい考え方をご紹介します。

1. URASS が大切にしていること

サッカーを通じて心を育み、人を育て、地域と世界をつなぐ。これが URASS の基本理念です。

私たちは、サッカーを楽しみ、一生懸命に挑戦する中で、思いやり、たくましさ、考える力、仲間と支え合う力を育てます。

4 つの「こころ」を育てる

- **仲間を信頼し、思いやるこころ**：仲間を大切にし、互いに助け合う気持ち。
- **お互いに楽しむこころ**：仲間と一緒にプレーする喜びを分かち合う気持ち。
- **何事も一生懸命やるこころ**：難しいことにも前向きに挑戦し、最後まで努力する気持ち。
- **考えるこころ**：自分で考え、判断し、行動する力。

サッカーを生涯の友達に

将来プロ選手を目指す子どもも、趣味としてサッカーを楽しむ子どもも、私たちは同じように大切にします。初心者から経験者まで、一人ひとりの成長に合わせた指導を行い、サッカーの楽しさと上達する喜びを伝えます。

サッカーとの出会いが楽しく、成長する喜びに満ちたものであれば、その経験は生涯の財産になります。

サッカーで地域と世界をつなぐ

URASS には、国籍や言葉、文化の異なる仲間が集まっています。一緒にボールを追いかけ、喜びや悔しさを分かち合うことで、言葉を超えたコミュニケーションが生まれます。

互いの違いを認め、尊重し、協力すること。サッカーを通じて地域の仲間とつながり、世界へと視野を広げることも、URASS で育んでいきたい大切な力です。

2. 子どもたちの成長に合わせた指導

子どもには、子どもの成長段階があります。子どもたちは、年齢や発達段階によって、身につけやすい技術や能力が異なります。URASS では、大人のサッカーをそのまま子どもに当てはめるのではなく、それぞれの年代に合った指導を行います。

楽しみながら、基本技術を身につける

特にゴールデンエイジと呼ばれる年代を含む小学生期は、ボールコントロールなどの基本技術や、多様な身体の動きを身につける大切な時期です。U-9 以下では、特定の戦術に偏らず、ボールを止める、運ぶ、蹴る、方向を変えるといった基本技術を中心に指導します。

技術の習得には、繰り返しが必要です。子どもたちがたくさんボールに触れ、楽しみながら繰り返し練習することで、少しずつできることを増やしていきます。

「できた！」という喜びを増やす

難しすぎる練習では、子どもは自信を失ってしまうことがあります。一方で、簡単すぎても成長にはつながりません。一人ひとりの年齢や能力に応じた課題を用意し、挑戦と成功を積み重ねられるように指導します。

自分で考える力を育てる

サッカーでは、プレーのたびにさまざまな判断が求められます。パスをするのか、ドリブルをするのか、シュートをするのか。コーチがすべての答えを教えるのではなく、子ども自身が考え、判断する機会を大切にします。

失敗しても、次にどうすればよいかを考える。その積み重ねが、サッカーだけでなく、日常生活でも役立つ力になると考えています。

年代別の育成の目安

年代	大切にすること
U-6	体を動かす楽しさ、ボールと遊ぶ楽しさ
U-8	多様な身体の動き、ボールに親しむ基本技術
U-10	ボールコントロールを中心とした基本技術の習得
U-12	技術の質を高め、仲間との連携や判断力を育む
U-13〜U-15	技術を実践に活かし、個人とチームの成長を目指す

※ 年代はあくまで目安です。一人ひとりの成長段階や習熟度に応じて指導します。

3. サッカーを通じて育つ、5 つの力

サッカーには、技術や体力だけでなく、子どもたちの人間的な成長につながる多くの学びがあります。

① 自立する力

自分で準備し、自分で考え、自分で行動する。練習の準備や片付けも、大切な学びの機会です。

② 挑戦する力

できないことにも挑戦し、失敗を重ねながら少しずつできるようになる。その経験が、子どもたちの自信やたくましさにつながります。

③ 考え、判断する力

サッカーでは、常に状況が変化します。自分で周囲を見て、考え、判断する経験を積み重ねます。

④ 仲間と協力する力

サッカーは、一人ではできないスポーツです。仲間を信頼し、助け合い、それぞれの違いを尊重することを学びます。

⑤ 努力を続ける力

技術は、一度の練習では身につきません。繰り返し取り組み、小さな成長を積み重ねることで、努力することの大切さを学びます。

私たちは、こうした力が、子どもたちの将来のさまざまな場面で役立つことを願っています。

4. 保護者の皆さまと一緒に

子どもたちの「ベストサポーター」に

日本サッカー協会（JFA）は、保護者向けハンドブック『めざせ！ベストサポーター』を通じて、子どもたちの自主性や成長を支える大人の役割を伝えています。URASS もこの考え方を大切にし、保護者の皆さまとともに、子どもたちの成長を応援したいと考えています。

(1) 子ども自身に任せてみましょう

練習の準備、持ち物の確認、片付けなど、年齢に応じて子ども自身に任せてみましょう。忘れ物や小さな失敗も、自分で考えるきっかけになります。大人がすべてを先回りして行うのではなく、子どもが自分でできることを少しずつ増やしていきましょう。

(2) 失敗を温かく見守りましょう

新しいことに挑戦すれば、失敗するのは自然なことです。すぐに答えを教えたり、失敗を指摘したりするよりも、子ども自身が考え、もう一度挑戦することを応援しましょう。失敗は、成長するための大切な経験です。

(3) 結果だけでなく、努力や成長を喜びましょう

試合や練習の後、子どもたちにどのような声をかけていますか。例えば、次のような声かけです。

- 「今日は楽しかった？」
- 「どんなことに挑戦したの？」
- 「何ができるようになった？」
- 「次はどんなことをやってみたい？」

こうした会話は、子ども自身が成長を実感し、次の挑戦に向かうきっかけになります。子どもが話したくないときには、無理に聞き出さず、温かく見守ることも大切です。

(4) 試合では、子どもたちの判断を尊重しましょう

ピッチの上でプレーするのは、子どもたちです。保護者の皆さまには、プレーを細かく指示するのではなく、応援や拍手で挑戦を後押ししていただきたいと考えています。コーチの指導を尊重し、審判、相手チーム、他の保護者にも敬意を払いながら、一緒にサッカーを楽しみましょう。

(5) サッカー以外の時間も大切にしましょう

学校生活、友達との遊び、家庭での時間、十分な休養も、子どもたちの成長に欠かせません。サッカーだけに偏らず、さまざまな経験を通じて豊かな人間性を育むことを大切にしましょう。

子どもたちの夢は、子どもたち自身のもの

子どもたちが何を目指し、どのようにサッカーと関わっていくかは、一人ひとり異なります。大人の期待だけで進路や可能性を決めるのではなく、子ども自身の気持ちや夢を大切にしながら、その成長を見守っていきましょう。

5. 試合に臨む姿勢

試合は、子どもたちが成長する大切な機会です。子どもたちが勝利を目指し、仲間と協力しながら全力でプレーすることを大切にします。一方で、コーチは試合の結果だけでなく、子どもたちがどのような挑戦をし、何を学んだかを重視します。また、試合は練習で身につけた技術を発揮し、自分で考え、判断し、挑戦する場でもあります。URASS では、次の 5 つを大切にします。

1. **全員がプレーに関わる**：一人ひとりがボールに触れ、試合に参加する機会を大切にします。
2. **基本技術を発揮する**：安易に前へ蹴るだけのプレーに頼らず、ドリブルやボールコントロールに挑戦します。
3. **さまざまな役割を経験する**：特に低年齢層では、ポジションを固定しすぎず、攻撃にも守備にも積極的に関わります。
4. **自分で考え、判断する**：ベンチからの細かな指示を最小限にし、子ども自身が判断する機会を大切にします。
5. **失敗を恐れず挑戦する**：ボールを失ったり、失点したりしても責めるのではなく、次のプレーへの挑戦を促します。

試合後には、結果だけでなく、どんなことに挑戦し、何を学び、どのように成長したかを、子どもたちと一緒に振り返ります。

6. 安全への取り組み

安全・安心は、私たちにとって最も大切なことです。サッカーは身体接触のあるスポーツで、軽いけがが起こることはあります。そのうえで、安全な環境を保つために、次の取り組みをしています。

- **活動前の点検**：グラウンドと用具の安全を確認し、子どもの体調を確認します。体調が悪い子には、無理をさせません。
- **暑さへの配慮**：水分補給と休憩を確保します。危険な気象条件では、練習を中止または短縮します。
- **頭や目のけが**：ボールなどが当たったときは、すぐに休ませ、無理に練習へ戻しません。本人が平気そうでも、当日中に保護者の皆さまへお知らせします。

- **けがやトラブルが起きたとき**：コーチが状況を記録し、スクールマスターが保護者の皆さまへ連絡します。事実を丁寧にお伝えします。ただし、擦り傷や軽い打撲、軽い口げんかなど、練習の中で起こりうるごく軽いものは、記録の対象とせず、必要に応じてコーチから直接お伝えします。
- **子ども同士のトラブル**：すぐに止めて、まずけがを確認します。それぞれの話を最後まで聞き、一方だけの話で判断しません。
- **幼稚園・学校での活動**：それぞれの施設のルールと安全管理に従います。移動と帰りは、コーチが責任をもって引率します。
- **子どもだけにしない**：コーチがピッチを離れるときは、必ず他のコーチに引き継ぎます。

コーチが行わないこと

- 嫌味、皮肉、侮辱の言葉を使うこと
- 子どもを否定する、無視する、みんなの前で叱る、他の子と比べて否定すること
- 怒鳴る、威圧する、物に当たること
- 罰として、ピッチから出すこと、「帰れ」と言うこと
- 体罰や、言葉・態度による暴力（いかなる理由でも行いません）
- 必要のない身体接触（頬や頭を撫でる、頬へのキス、抱き上げるなど）。褒めるときは、言葉、拍手、ハイタッチなどを使います。
- 子どもと二人きりで、見えない場所にいること。送迎、着替え、トイレは、複数の大人の目が届く形で行います。
- 国籍、言語、体の特徴、家庭の状況などを理由にした、差別や区別、からかい、いじめ

大気汚染と雷による中止

- **大気汚染（PM2.5）**：各クラスの 1 時間前に、練習場所の数値を確認します。200 以上は中止、151〜199 は内容を調整して実施、150 以下は通常どおり実施します。
- **雷**：J リーグの基準に基づき、雷光の後 20 秒以内に雷鳴が聞こえたときは、20 分間中断します。
- **振替**：天候、大気汚染、ピッチの確保など、スクール側の理由で中止したとき、または雷で実際の練習時間が予定の半分未満になったときは、振替セッションを用意します。日程は、あらためてお知らせします。
- **連絡**：突然の中止は、少なくとも 1 時間前までにお知らせします。
- 幼稚園・学校での課外活動（CCA）は、各学校の基準に従います。

メガネ・保険

- 練習中は、メガネを外すか、スポーツ用ゴーグルを使うことをお勧めします。通常のメガネを使用して生じたけがや破損について、スクールは責任を負いかねます。
- すべての選手は、トレーニング中のけがについて、スクールの保険に加入しています。適用は保険契約の条件により、1 件あたりの上限は 25,000,000 ドンです。これを超える補償は、スクールの責任外となります。保険や補償についてのご相談は、スクールマスターにお問い合わせください。

7. 個人情報・写真・連絡について

- **写真・動画**：活動の写真は、入会規約でご同意いただいた範囲で、URASS の公式チャンネル（ウェブサイト、SNS、チラシなど）に限って使います。コーチが個人のスマートフォンやアカウントで、子どもの写真や動画を撮影、保存、投稿することはありません。使用を取りやめたい場合は、お申し出ください。すぐに対応します。
- **個人情報**：名簿、連絡先、健康情報などは、活動の目的以外に使いません。他のお子さまや保護者の情報を、ご本人以外にお伝えしません。
- **成績・評価**：子ども個人と結びつく形で、評価や成績を公開しません。
- **連絡方法**：保護者の皆さまへの連絡は、コーチ個人の SNS ではなく、URASS 事務局の Zalo アカウントを通じて行います。コーチが、子どもと個人的に SNS やメッセージで連絡することはありません。
- **私的な関係**：コーチは、保護者の皆さまと、食事や個人的な連絡などの私的な関係を持たない決まりです。ご理解をお願いします。

8. 連絡・欠席・持ち物

- **見守る場所**：練習中、試合中は、ピッチの外から見守ってください。
- **到着時刻**：練習開始の 15 分前までに、ピッチに来られるようにお声がけください。遅れる場合は、事前にご連絡ください。安全のため、準備運動を済ませてから、練習に合流します。
- **欠席**：欠席や試合の不参加は、開始の 24 時間前までにご連絡ください。1 週間を超える長期の欠席は、事前にお知らせください。駐在などの帰国や長期の旅行は、事前にご連絡いただければ、できる限り柔軟に対応します。
- **持ち物と服装**：スクールのユニフォーム、人工芝に合うシューズ、水筒を持たせてください。試合には、すねあてが必要です。
- **お子さまの様子**：体調や、心配なことがあれば、お知らせください。

9. ご相談・お問い合わせ

お子さまのこと、指導のこと、安全のことで気になることがあれば、遠慮なくご相談ください。コーチに話しにくいときは、スクールマスターにお伝えください。英語とベトナム語で対応します。ご相談された方が、不利益を受けることはありません。

- メール：info@urass-vn.com
- ホットライン：077 558 1295
- ウェブサイト：https://urass-vn.com/

これからも、子どもたちの成長を、保護者の皆さまとともに支えてまいります。

浦和レッズアカデミーサッカースクール ベトナム・ハノイ校

代表　進藤大輔